



今季こそ、  
一部へ

関甲新学生野球 2部リーグ戦

## 埼玉大学戦 1勝1敗

## 3戦目へ

# 有終の 本塁打

1戦目 ツーラン

写真 9回、本塁打を放った小金澤

1戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
本学	0	0	3	0	0	1	1	0	2	7
埼玉大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

  

2戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
埼玉大学	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	4
本学	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3

関甲新学生野球・2部春季リーグ戦第4戦となる埼玉大学戦は1勝1敗となり、3戦目が実施されます。

【1戦目 5/4】2回表、先頭の5番石井将太郎（3年）がヒットで出塁し、そこに6番櫻村昌樹（2年）、7番草野成冴（3年）が続き初得点。その後も先発滝田充宏（3年）の好投や二塁手錦真也（4年）の好守備などで、試合は常磐のペースで進みます。9回表、先頭の3番飯村勇紀（4年）が出塁すると4番小金澤海偉（4年）が2ラン本塁打を放ち、7対0に突き放します。最後はリリーフの佐藤拓海（2年）、長谷川国杜（2年）が抑え、勝利しました。なお、この試合は4年生の引退試合となりました。7-0。（文・横田廉太郎）

【2戦目 5/5】2回裏、相手投手を攻め、1死満塁とした常磐は8番小野寺航希（2年）のサードゴロで1点を先制するものの、3回表、守備のミスが重なり、犠牲フライで同点とされます。7回表、先発大谷優人（2年）が2死1・2塁のピンチを招き、センターへの適時打で逆転されます。9回裏、後がない常磐は2死3塁として、途中出場の福田大輔（2年）のレフトへ適時2塁打で同点とします。延長10回表、無死1・2塁から始まるタイブレークで1死満塁から暴投で勝ち越しされると、もう1点追加され2-4。10回裏、1死2・3塁から鈴木海斗の犠牲フライで1点を返すものの後続が倒れ、試合終了。3-4。（文・三河樹）

星取表 (2019年5月5日現在)

順位	大学	関東学園	本学	埼玉	松本	新潟	高崎経済	試合	勝	負	勝点	勝率
1	関東学園	△	☆☆	☆☆		☆☆	☆☆	8	8	0	4	1.0
3	本学	★★	△	☆☆	☆☆		☆☆	8	5	3	2	0.6
4	埼玉	★★	☆☆	△	★★		☆☆	8	3	5	1	0.3
2	松本		★★	☆☆	△	☆☆		6	4	2	2	0.6
4	新潟	★★			★★	△	☆☆	7	2	5	1	0.2
5	高崎経済	★★	★★	★★		☆☆	△	8	1	7	0	0.1

次回予告

## 対・埼玉大学戦 (3戦目) 第4戦

# 5/6(月) 12:00

会場：本学野球場